



# PRO PAINT SCREEN

---

install manual

Work Together & Collaborations

**SOLUTION  
SYSTEMS**

株式会社 ソリューション システムズ

## STEP 1. 塗布面のチェック

プロペイントスクリーン（スクリーン・コート剤）を塗る面や材質の表面がフラットで穴や傷が無いかチェックして下さい。  
壁の横から見ると平面性がよくわかります。



シーラー参考品

■そのままプロペイントスクリーンが塗れる基材。  
アクリル、FRP、プラスチック類、塩ビ、金属類、  
ガラス、タイル、陶器、プリント合板、発泡ボード、  
紙類、布類等。

■プライマーを塗ればプロペイントスクリーンの塗付量が  
節約できる基材（目の粗い素材または小さな穴の多い素材）

合板、木材、モルタル、コンクリート、布類、紙類、石類等。

市販の木材用、コンクリート用等のプライマーをご使用下さい。

■プライマーが必ず必要な基材

ビニールまたはビニール質の壁紙

市販のビニール壁用プライマーをご使用下さい。

■プロペイントスクリーンがご使用になれない基材

ポリプロピレン

## STEP 2. 養生をする

プロペイントスクリーンを塗る周囲をしっかりとマスキングやシート等で養生して下さい。  
プロペイントスクリーンを床などにたらした時はすぐぬれ雑巾などで拭き取って下さい。  
(プロペイントスクリーン剤は水性で有害物質など含まれておりません。)



Work Together & Collaborations

**SOLUTION  
SYSTEMS**

株式会社 ソリューション システムズ

＊ ＊ 塗る前に ＊ ＊

ペイントローラーは必ず短毛ローラーを御使用ください。  
市販品を使用する場合は毛丈 5 mm または 6 mm

繊維質のローラーを御使用ください。

スポンジ質や発泡のローラーまたは中毛、長毛のローラー  
は使用しないで下さい。

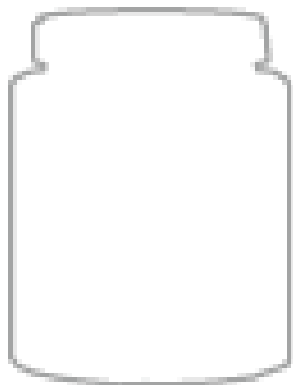


Work Together & Collaborations

**SOLUTION  
SYSTEMS**

株式会社 ソリューション システムズ

### STEP 3. ベースコート进行塗る・1回目



ベースコート进行ペイントトレイに注いでください。（一回200mL程度が適度な分量です。）  
ローラーをベースコート液に浸しトレイ上で回転させながら  
液をローラー全体に廻して下さい。余分な液は落としてください。

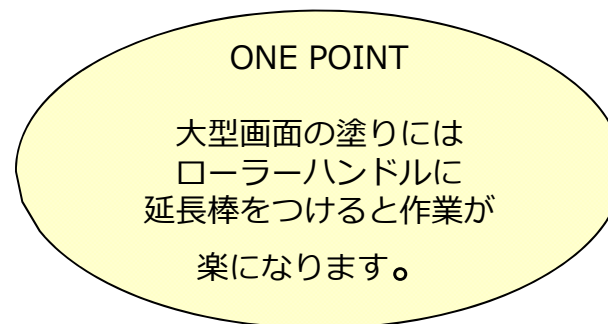
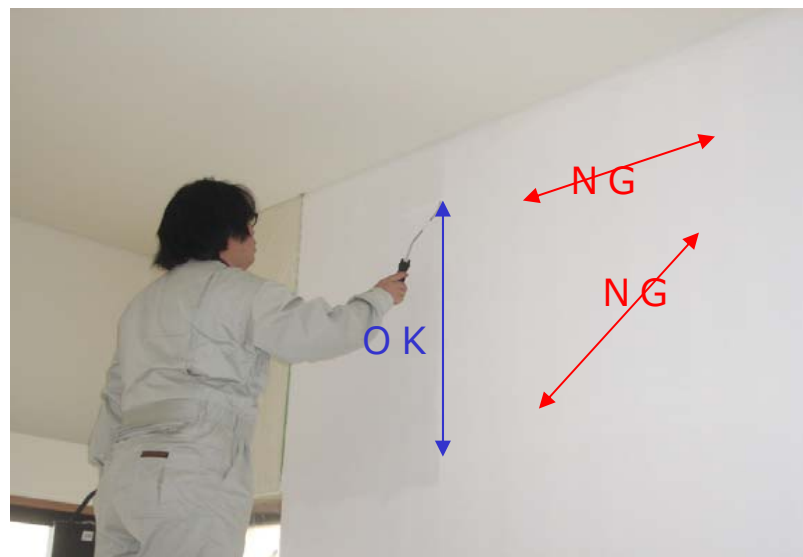
\*プロペイントスクリーン（ベースコート・トップコート）はペイントの粘度が重要ですので 対に水で薄めないで下さい。

## STEP 4. ベースコートを塗る・1回目・・・塗布面角の塗装

コーナーや隅はローラー塗りの前にスポンジ刷毛などで  
あらかじめ塗っておくときれいな仕上がりになります



## STEP 5. ベースコートを塗る・塗る方向



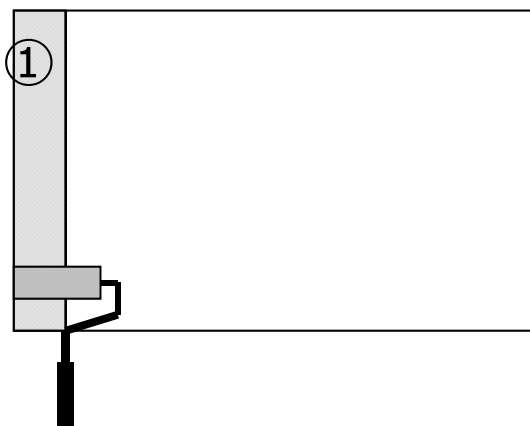
プロペイントスクリーンの「塗り」の開始は  
右端からでも左端からでも構いません。  
ただし、塗り方向は縦のみです（ローラーを上下にころがす）  
横方向や斜めにローラーをころがすと規則的な塗りパターンが  
乱れよい仕上がりになりません。

\* 横方向や斜めに塗布しないでください。

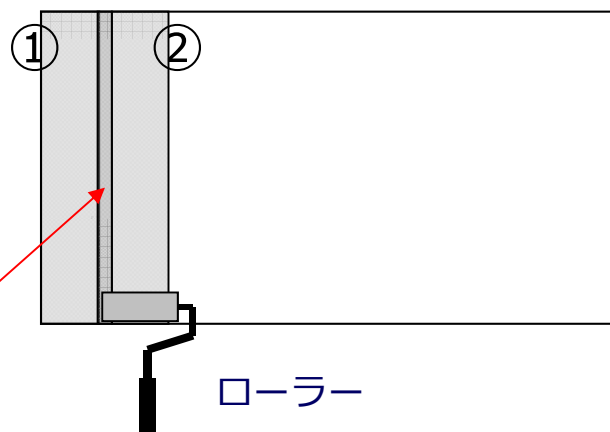


## STEP 6. ベースコートを塗る・塗り方

### 1. ①の帯をローラーで塗る

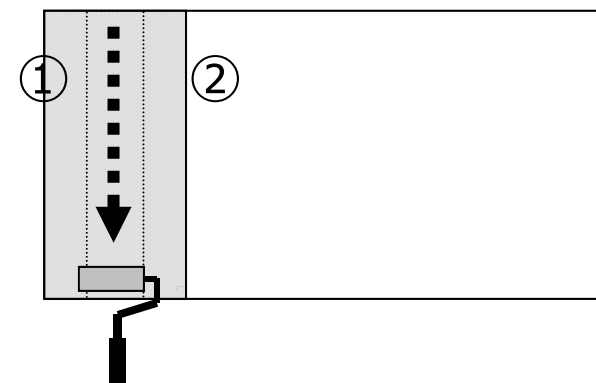


### 2. 2本目の帯②を2～3 cmオーバーラップして塗る



オーバーラップした部分だけ  
塗料がこくぬれる。

### 3. ペイント液をつけず①と② の帯の中間を上から下に1回だけ ゆっくりと転がしおろす。

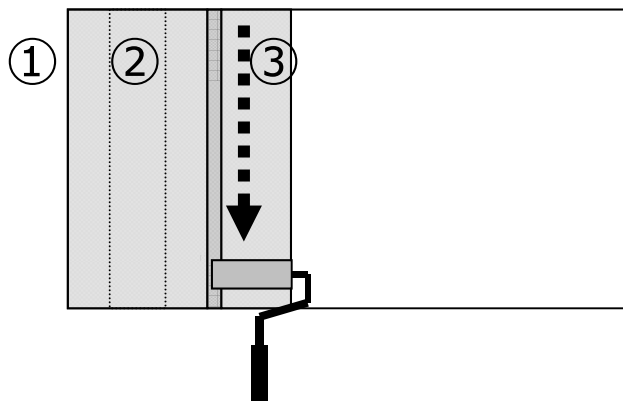


このときに塗装ムラになったように見えますが乾燥するとこのムラは消えます

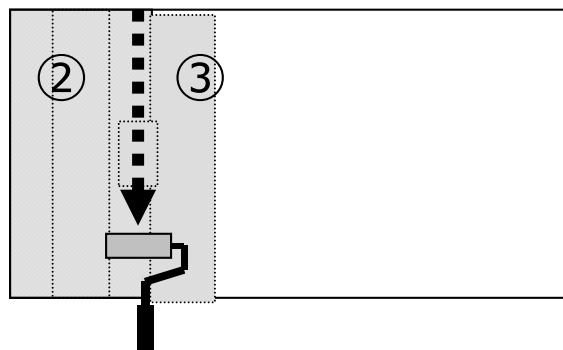


## STEP 7. ベースコートを塗る・塗り方

### 4. 3本目の帯③を2～3cmオーバーラップして塗る



### 5. ペイント液をつけず②と③の帯の中間を上から下に1回だけゆっくりと転がしおろす。



### 6. スクリーンを塗布する端まで同様に繰り返し塗布していきます

**重要:** 2～3分経過するとコート剤の硬化が始まります。  
元に戻って塗り直すことは避けてください。

## STEP 8. ベースコートを塗る・ゴミなどの確認～乾燥

塗った表面はシボのパターンになります。



- ゴミや埃が付着したときは  
ピン先、ピンセットなどで取り除いてください。  
取り除いた後はそのままでもOKです。  
\*ベースコート2回目で補修されます。

### 注意

終了したら表面が完全に乾燥するまで  
「ベースコート塗り・2回目」に入らないで下さい

(表面の自然乾燥目安は30～40分くらいです。)

ドライヤーや送風機を使用して速く乾燥させることも可能です。  
ヒートガンは表面が沸騰する可能性があるので使用しないでください。



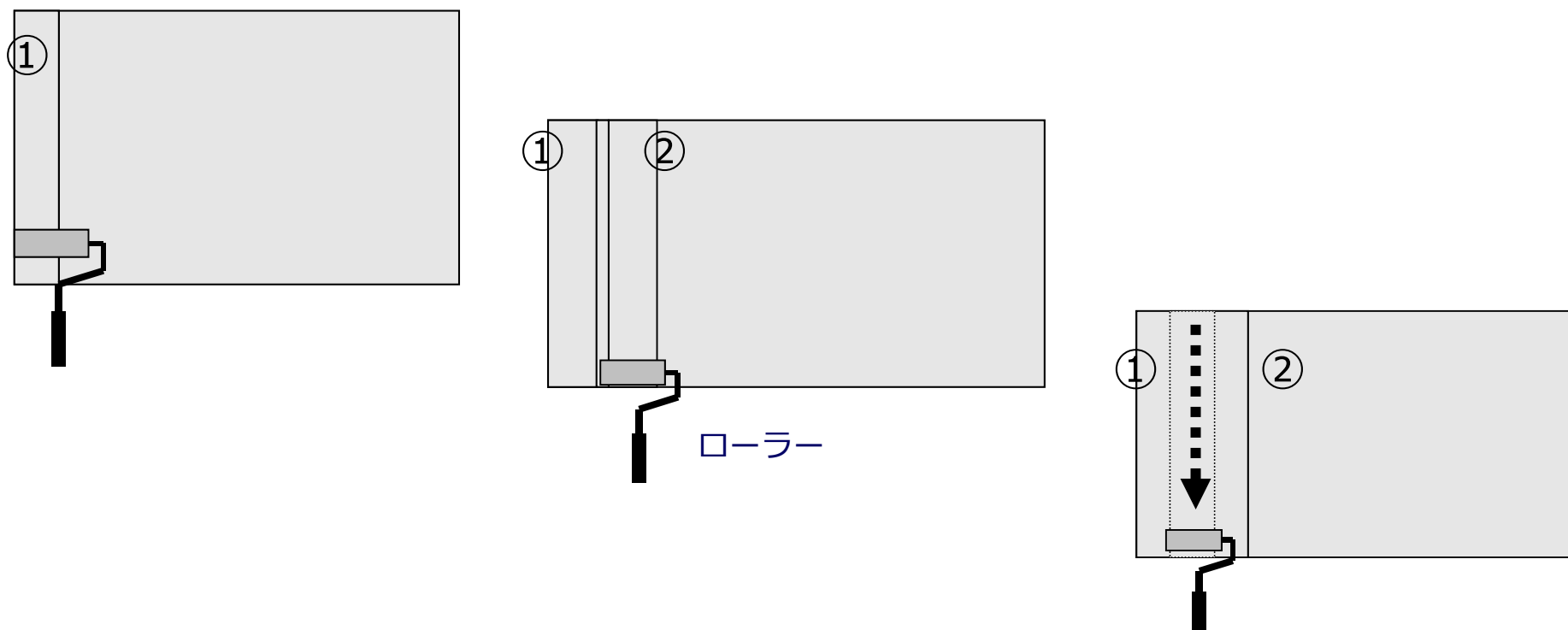
Work Together & Collaborations

**SOLUTION  
SYSTEMS**

株式会社 ソリューション システムズ

## STEP 9. ベースコートを塗る・2回目

1回目と同様の手順で重ね塗りをしていきます。



終了したら表面が完全に乾燥するまで「トップコート塗り・1回目」に入らないで下さい

## STEP 10. ベースコートを塗る・終了

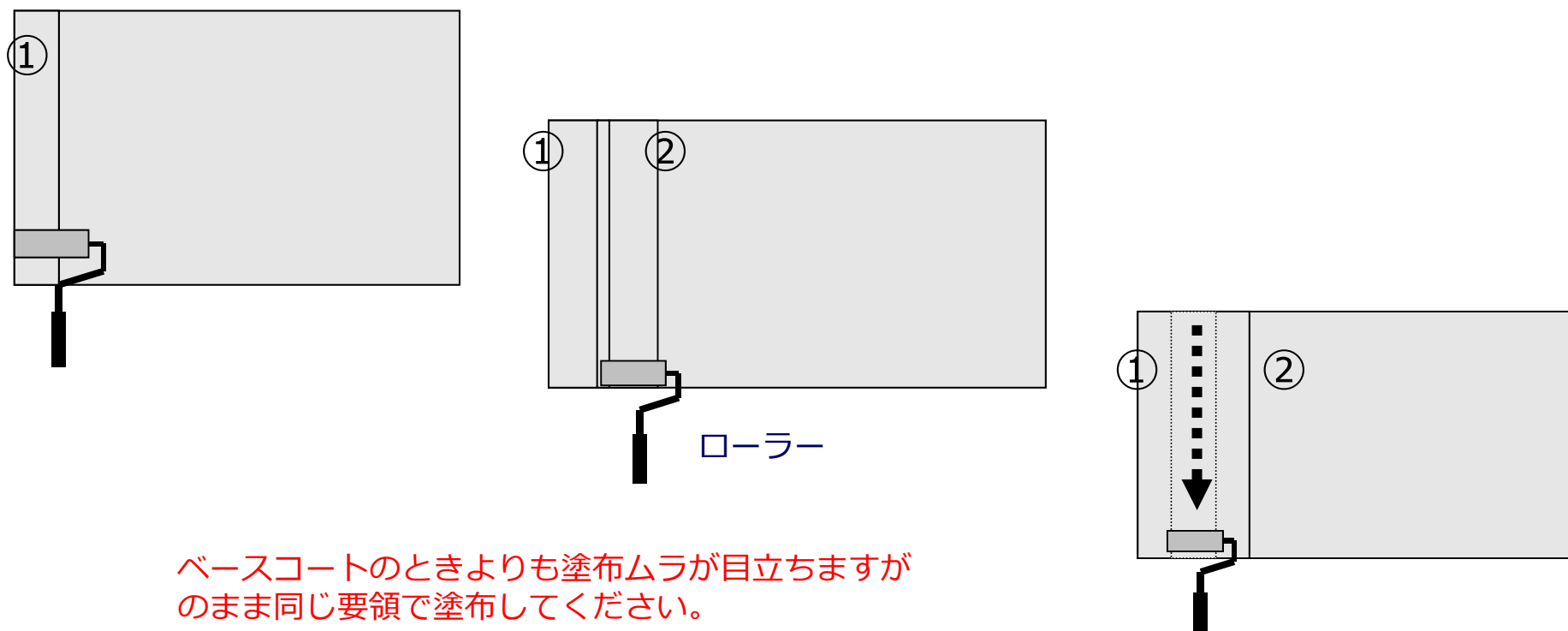
- ベースコート2回目の塗りが終了したらペイントトレイを交換下さい。



- ローラーも新しいものに交換します。  
ベースコートで使用したローラーはトップコートで使用することは出来ません。
- \* ローラーを洗った場合は完全に中まで乾燥するまで使用しないでください。  
ローラーの中に残った水分が染み出てきてスクリーン材料を薄めてしまいます。

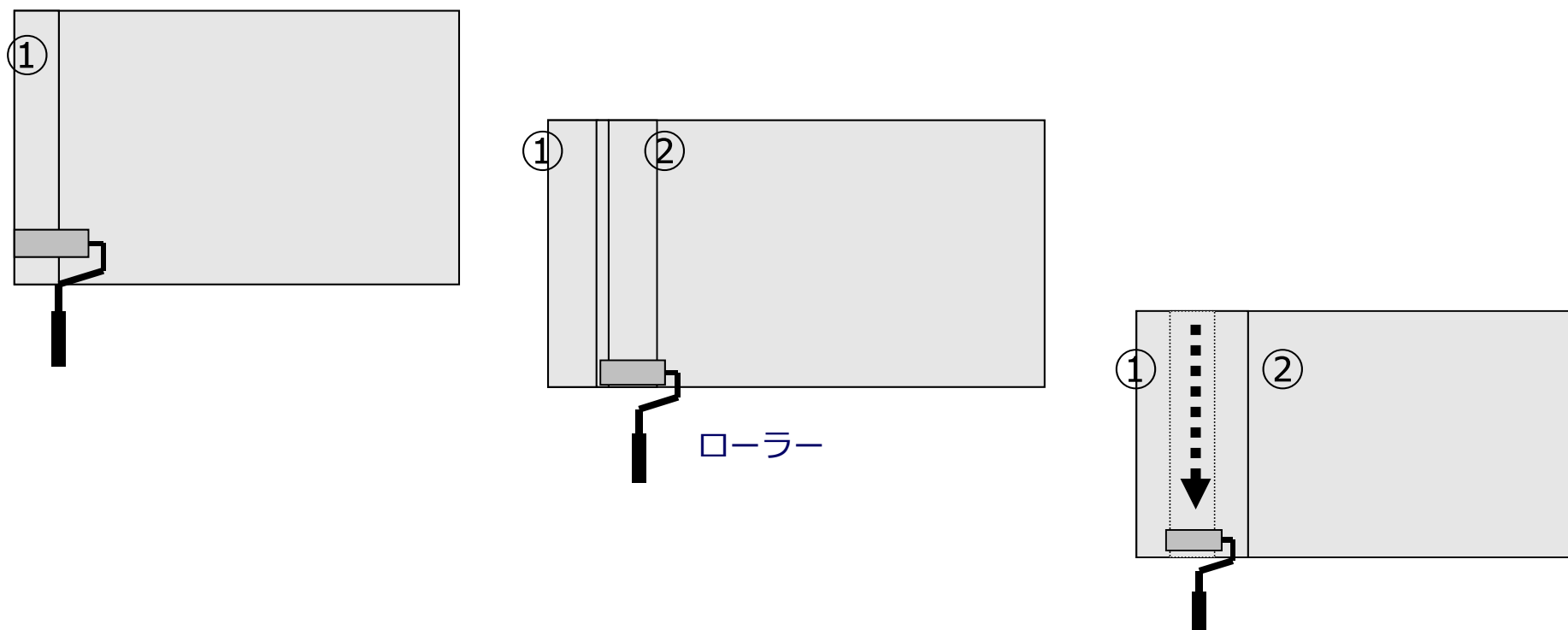
## STEP 11. トップコートを塗る・1回目

ベースコートと同様の手順で重ね塗りをしていきます。

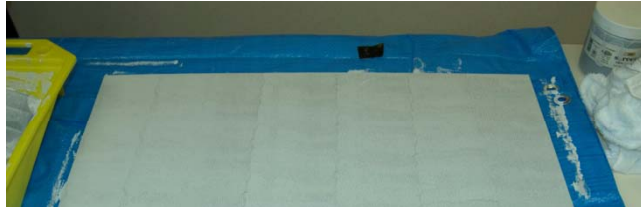


## STEP 12. トップコートを塗る・2回目

トップコートも2回の重ね塗りをしていきます。

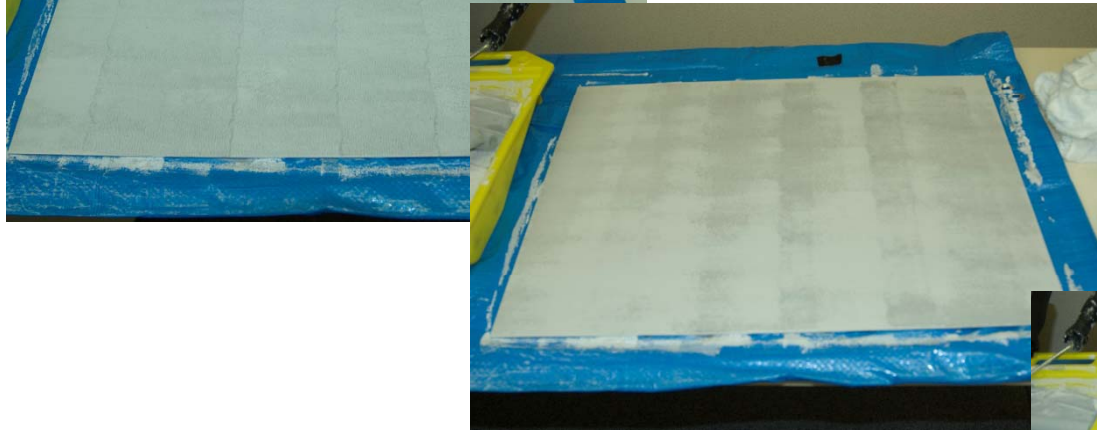


## STEP 13. プロペイントスクリーン塗布作業の完了



塗布直後

塗布直後はこのようにムラが残っています  
(写真の塗布色はグレイ色)



半乾燥状態

乾燥してくるとさらにムラが目立ちます



完全乾燥

乾燥するとムラが消えてしまいます

表面は触っても乾いていますが中に水疱が残っています。  
完全乾燥までは自然放置で約2週間ほどかかります。

Work Together & Collaborations

**SOLUTION  
SYSTEMS**

株式会社 ソリューション システムズ